



sakushin ism



Sakushin Gakuin Elementary School

## 作新学院小学部

学院長 船田 元

〒320-8525 栃木県宇都宮市一の沢1丁目1-41

☎028(647)4576

FAX028(648)1823 <https://www.sakushin.ac.jp>



交通案内

- ◆JR宇都宮駅利用 西口バスターミナル⑥・⑦乗場から  
関東バス「作新学院駒生」行乗車
- ◆東武宇都宮駅利用 東武宇都宮駅前バス乗場から  
関東バス「作新学院駒生」行乗車

※いずれも「作新学院前」下車

# SAKUSHIN GAKUIN ELEMENTARY SCHOOL



# 作新学院小学部

2021

学校案内／募集要項



「作新民。」その「人間力」で、世界を変える、未来をつくる。



「確かな知力」「豊かな心」「やりぬく強さ」

〈リトルジェントルマン〉 〈リトルレディ〉  
小さな紳士・小さな淑女を育てる



学院長  
船田 元



理事長  
船田 恵

作新学院小学部は県内でただ一つの私立小学校です。小学部では私立の特色を生かし、児童一人ひとりが個性を十分に伸ばせるよう、教職員は細かい点にまで気を配りながら指導しています。特に学院の校風である人を思いやる優しさや、心の豊かさをもった人となるように、知育・徳育・体育のバランスのとれた教育を心がけ、それを実践しています。

## 知育 ———— 少人数教育によるきめ細かい指導。

教育の基本は「教え込む」ことではなく、その子どもに備わっている能力と可能性を最大限に「引き出す」ように導くことです。そして、子どもが自発的に学べる環境を整えることです。作新学院小学部では、各教科の授業において、子どもたちの学習に対する興味や関心を高める様々な取り組みを通して、学習への意欲を引き出し、学力を確実に伸ばすことに力を注いでいます。また、少人数クラス編成でのきめ細やかな指導とチーム・ティーチングにより、授業に自然と集中できる環境を作り出しています。

## 徳育 ———— 感謝と思いやりの心を育む。

作新学院小学部の道徳教育は、キリスト教の愛の精神を基盤とし、成長に合わせてゆっくりと子どもを見守りながら「思いやり」の心を育み、愛情豊かに育てようとする教育です。学校での生活は、朝の祈りに始まり、帰りの祈りに終わります。また、月に二回の牧師による聖話では聖書から隣人愛について学び、他人を理解し、よい人間関係をつくることのできる子どもの育成に力を入れています。また、学校は子どもの社会性を養うところでもあります。規律や礼儀、言葉づかいなど日常のしつけ教育も徹底して行っています。

## 体育 ———— 体力と意志力の育成。

通常の授業の他に私立学校の特色を活かした多彩なスポーツ系年間行事を用意。体力だけでなく持久力や忍耐力などをそなえた強くたくましい子どもを育てます。また、男子は5・6年生になると必修クラブとしてラグビーの授業があります。仲間とともに取り組むことで楽しんで体を動かし、粘り強くやり通す精神や思いやりの気持ちを養うとともに、ルールを重視し楽しく仲良く運動ができるようにしています。

創立者 船田兵吾 (1868~1924)

幼い時から学問が好きで、6歳の頃にはすでに『論語』を読みこなしたことから、「神童」と呼ばれる。また、田中正造とも親しく、彼から「日本における教育者の代表」と言わせるほどの人物であったという。作新学院の教育施設の整備に努め、学校発展の基礎をつくるために奔走し、1924年(大正13年)57歳で「教育」に捧げた一生を終える。



小学部 初代部長 船田小常 (1903~1973)

小学部創設に尽力。キリスト教の愛の精神を道徳教育の基盤に据え、自ら、聖書の教えを子どもたちに説いた。また、将来の国際化社会に備え、創立当初より英語教育に力を入れた。更に、一流人の育成を目指し、日常の立ち居振る舞いや挨拶等の躰にも厳しかった。こうした初代部長・船田小常の教育理念は、「小さな紳士・小さな淑女の育成」という小学部の教育目標として、今日まで受け継がれている。



### 沿革

昭和29年 作新学院小学部創設 外国人教師による英語学習を開始  
昭和34年 制服制定  
昭和35年 必修クラブラグビー部設置  
昭和37年 必修クラブ茶道部設置

昭和38年 委託給食開始  
昭和41年 新校舎落成  
昭和57年 小・中等部体育館落成  
平成 3年 多目的校舎新設  
平成 8年 TBSこども音楽コンクール最優秀賞(金管クラブ)

平成14年 1学級25名基準、学年3学級編成を実施  
平成17年 小学部校舎の拡充  
平成21年 小・中等部食堂棟落成  
平成23年 新入生より新制服となる  
平成26年 小学部創立60周年

# 開設当初からグローバル化を見据えた英語教育。

コミュニケーションを重視した内容で、生きた英語を楽しく学びます。

## 国際的な感覚と感性を身につけます。

作新学院小学部の英語教育は、開設当初より来たるグローバル化を見据え、ネイティブの英語教師をいち早く導入。子どもたちが楽しく自然と英語力が身につけられる授業を展開してきました。英語力を身につけることは、意欲と環境が整いさえすれば何歳からでも可能です。しかし発音や習得の効率性を考えた場合幼少期から学習を開始することが望ましいと考えられます。

現在小学部では、2人のネイティブの英語教師を擁し、生きた英語を習得できる学習環境を用意しています。私立学校ならではの質の高い教育が期待できます。

また、2020年から英語が5・6年生で教科になることや、将来、より確かな英語の力が求められることを考え、Reading・Writingの力も、学年に応じて身につけることができるようなプログラムを導入しています。



1年生から6年生まで、毎週2~4回、英語に親んでいます。



歌やゲームを通して、ListeningとSpeakingを中心に「英語は楽しい」という子どもの心を大切にしています。



「英語が好き」と思えるように、自然な形で英語が身につくことを目指します。



ネイティブの先生とのコミュニケーションを通して生きた英語の活用に重点を置いています。

### 異文化体験教室

### 五感を通して、英語と英国の文化に触れます。

5年生は夏休みの7月下旬に、ブリティッシュヒルズで1泊2日の体験学習を行います。ここでのさまざまなカルチャーレッスンやマナー教室はすべて英語。生きた英語に触れながらの活動は、子どもたちにとって貴重な経験となることでしょう。



英語でチェックイン。ドキドキしたけど、通じてうれしい!!



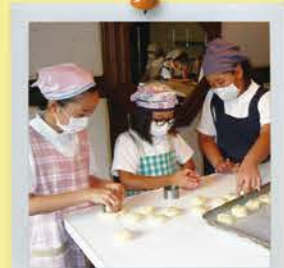
砂や貝殻を使ってキャンドル作り。



イングランド起源の「クリケット」を体験!!



マナーを学びながら美味しく楽しくお食事。



スコーンの作り方を教えてもらいました。



# 一人ひとりを大切に。

少人数クラス編成とチーム・ティーチングで  
行き届いた指導を実現します。



小学部長  
八島 慎宏

学ぶ姿勢を低学年からきめ細やかに指導。

作新学院小学部では、学校生活の中心となる学習に対する基本的な態度や学ぶ力を、低学年の段階からきめ細やかに指導。一人ひとりがよく学び、自主・自立・友愛の精神を尊重しながら、楽しい学校生活を送れるような環境づくりに努めています。



## 自ら学び、考え、解決していく力を育みます。

作新学院小学部では私立学校ならではの独自の教育プログラムで特色ある授業を展開し、子どもたちが自然と授業に集中できるようリズムを作り出しています。また、少人数クラス編成とチーム・ティーチングにより、個に応じたきめ細やかな指導を実現し、子どもたちの学力向上に高い成果をもたらしています。さらに、ほとんどの児童が本学院中部へ進学するという環境から、クラス全体に連帯感と緊張感が生まれ、子どもたちの自主性と学習意欲の高揚に相乗効果が得られています。

### NIE を社会科で実施

#### NIE (Newspaper in Education) 全国大会 ディベート公開授業

NIEとは学校などで新聞を教材として活用すること。教育界と新聞界が協力し、社会性豊かな青少年の育成や活字文化と民主主義社会の発展などを目的に掲げて、全国で展開しています。



2019年8月2日(金) 宇都宮市文化会館にて開催

NIE全国大会宇都宮大会で、公開授業を行いました。NIEは新聞を使った教育のことで、小学部は平成23(2011)年度、平成29(2017)年度からそれぞれ2年ずつNIE実践指定校として取り組みを続けてきました。

～『作新民』授業を展開しよう ディベート&ダイアログで意見を発信しよう～として公開授業を行い、6年3組の児童がディベートにのぞみました。全国から多くの方が熱心に参加してくださり、ご意見・感想もたくさんいただきました。子どもにとっても教員にとっても日ごろの教育活動を発表することができる貴重な場となりました。

### 必修クラブ

#### ラグビー

5・6年生の男子にはラグビーの授業があります。時には、作新学院高等学校のラグビー部員による技術指導を受けることもあります。



ラグビー(男子)

### 必修クラブ

#### 茶道

5・6年生の女子は茶道家元のご指導で茶道を学んでいます。茶道を通して、日本の伝統文化に触れ、正しい礼儀作法を身につけます。



茶道(女子)



# 朝のお祈りに始まる、楽しく充実した毎日。

キリスト教の愛の精神を基盤とした情操教育を行っています。

毎週水曜日に朝の運動があります。



6年生は週番の仕事として、朝早く掃除活動を行っています。

## 登校

徒歩・バス・自家用車などで8時15分までに登校します。登校時は正門・アカデミアゲートのどちらからも入れます。

## 1 時限目

子どもたちの生き生きとした表情が密度の濃い授業を物語っています。



## 一日の流れ



## 2 時限目

歌やゲームを楽しみながら、生きた英語を身につけます。



## 3 時限目

音楽では、合唱や器楽合奏などを通して、豊かな情操を育みます。



## 4 時限目

先生のお話をよく聞いて、わからないことは質問し、疑問は今日のうちに解決します。



## 給食

ランチタイムは友だちと楽しくお話をしながらいただきます。



## 5 時限目

理科の観察や実験は新しい発見がいっぱい。児童の目が輝きます。



## 一校一家の精神



小学部では上級生が下級生をサポートすることが日常となっています。下級生を思いやる心を育てるとともに、上級生への感謝の気持ちと目上の人を敬う一校一家の精神が、脈々と受け継がれています。



上級生が正門で1年生を出迎え教室まで付き添います。



わからないことが多い1年生に6年生が優しくサポートします。



朝の時間に6年生が1年生に紙芝居を読んであげたりしています。



【親子給食】1年生児童と保護者が一緒に楽しい給食体験!!

## ランチルーム

5・6年生はランチルームにて給食をいただきます。清潔で開放的なランチルームでの昼食は、友だちとの会話も弾み、リラックスしたひとときです。様々なイベントにも活用されています。

## 下校

下校時も、児童の安全確保につとめています。



## 6 時限目

高学年の社会科では、新聞記事を題材として、互いに意見交換しながら社会的な課題に向き合うディベート授業を行っています。



## 学校行事を通して、社会性と協調性を養います。

子どもたちがめりはりのある学校生活を送ることができるように、1年を通して多彩な学校行事を用意してあります。一つの行事に子どもたちが主体的に関わっていく過程では、教科の学習とは違う活動の中から互いの能力を認め合い、よりよいものを創り出す喜びを感じることができます。また、学校行事と総合の時間を関連づけたプログラムを実践し、その内容をより充実したものにしています。

- 4** 入学式
- 5** 春の遠足  
幼小連携田植え  
親子給食会  
修学旅行
- 6** 親子のつどい  
花の日訪問
- 7** 異文化体験教室
- 8** チャレンジ講座
- 9** 運動会
- 10** 秋の遠足  
林間学校
- 11** 感謝祭
- 12** クリスマス礼拝・音楽会
- 1** スキー教室
- 2** スケート教室
- 3** 卒業式

### 入学式



作新学院小学部での素晴らしい日々の始まりです。少し緊張しながらも希望に瞳を輝かせています。

### 春の遠足



新緑の豊かな自然の中で動植物と親しみながらクラスの仲間との友情を深めます。

### 幼小連携田植え



年長園児ともち米の苗を一本一本丁寧に植えます。10月末に刈り取り、12月には餅つきをして食べます。

### 花の日訪問



日頃お世話になっている公共機関や施設に感謝の気持ちとともにお花を届けます。

### チャレンジ講座



夏休み、各教員の得意分野を生かして約20の講座が開かれます。この講座ではスライム作りをしています。

### 運動会



金管クラブの演奏に合わせて入場行進。割れんばかりの歓声の中で溢れる笑顔とほとばしる汗。仲間と一丸になって勝利を目指します。

### 林間学校

3年生は塩原で、4年生が那須で1泊2日の林間学校を実施。寝食を共にして友情深めます。



木の葉化石園にて木の葉石の原石を割って化石探しを楽しむ体験をします。



りんどう湖ファミリー牧場にて牛の乳搾り体験や様々な動物たちと触れ合います。

### 感謝祭



アメリカの宗教行事の一つですが、小学部では毎年野菜や果物を持ち寄り老人ホームなどへ届けています。



### 長距離走大会



10月から11月にかけて子どもたちは毎日練習します。大会では完走する達成感と喜びを味わいます。大会後は、役員のみな様が作ってくださるおしるごとお雑煮を美味しくいただきます。

### 秋の遠足

秋の遠足は、さつまいも掘りやりんご狩りなど実りの秋ならではの体験も。

### 幼小連携稲刈り

立派に育ったもち米を年長園児と一緒に稲刈りします。

益子にて絵付け体験。

### クリスマス礼拝・音楽会



クリスマス礼拝のあとに音楽会を実施します。各学年ごとに発表する歌や合奏は、非常にレベルの高いものです。



### スケート教室



3・4年生を対象に実施。1時間ほどの練習で、3年生も上手に滑れるようになります。

### スキー教室



5・6年生を対象に実施。現地インストラクターの指導で、初めての児童も2日目には滑れるように。



### 修学旅行

2泊3日で横浜・鎌倉・箱根をまわります。班別行動を中心に、自然や歴史・文化を満喫します。





## フリーアナウンサー・気象予報士として、 「NHKとちぎ630」で活躍中!!

元担任の八島部長と久しぶりに再会し、今の仕事と小学部での思い出を語ってくれました。



アカデミア・ステージにて八島部長と福嶋さん



NHK宇都宮放送局にて

### 福嶋 真理子 さん フリーアナウンサー・ラジオパーソナリティ・気象予報士

宇都宮短期大学音楽科 ◀ 宇都宮北高等学校 ◀ 陽西中学校 ◀ 小学部(昭和61年度卒)

(八島) 今は、具体的にどんなお仕事を?

**福嶋さん** CRTのアナウンサーを経て、今はフリーのアナウンサーをしています。そして、気象予報士の仕事もしています。

(八島) アナウンサーになろうと思ったのは、いつ頃ですか?

**福嶋さん** 覚えていないくらい前にあったのだと思います。小学部では、ずっと放送委員でした。はっきりと覚えているのは、5年生の時に起こった御巣鷹山に飛行機が墜落した事故の時のことです。情報があまりない中でも、何かしら伝えていくアナウンサーの言葉に影響を受けました。そして「人に何かを伝える仕事をしたい。」と思いました。

(八島) 気象予報士の仕事もしていますね。試験に合格するのはとても難しいと聞きますが。

**福嶋さん** はい。理数系の教科が苦手だったので、とても大変でした。休日には、12時間も勉強した日もありました。でも、振り返ってみると、「目標を持って自分が決めたこと、自分のためになることは、やれるんだな。」と思えました。



ダイニング・ラボにて



小学部時代の福嶋さん

(八島) 達成感を感じるのには、どんな時ですか?

**福嶋さん** 自分で企画したものが認められ、形になったときは安堵感があります。そして、災害が起きた時に、ラジオで詳しく伝えられたことで、「安心できた。」「早く避難できた。」という県民の声を聞くと、本当に良かったなと感じます。

(八島) 小学部にいたころの思い出は?

**福嶋さん** 花の日訪問です。私の職場である栃木放送にも行っているんです。そして、就職して1年目に小学部の子どもたちが放送局に来て、「私も小学生の時、ここに来たな。」と思い出しました。花の日の歌も歌えます。もう一つ、聖話の時間です。聖書のお話は、大学で音楽史を理解するのにとても役立つのを覚えています。

(八島) 小学部のこどもたちにメッセージを。

**福嶋さん** 放送、音楽、天気と、興味を持ったことから遠ざかることなくいられたことで、今の自分があります。様々なことに興味を持って挑戦して欲しいし、疑問を持った時はあきらめずにそれを解いて欲しいと思います。

## イギリスでの世界的なコンクールで ユーフォニアム部門「2年連続1位」を獲得!!

現在もイギリスにて音楽家として活躍する稲葉さんに元担任の遠藤教頭がお話を伺いました。



イギリスにて指導する稲葉さん

### 稲葉 菜摘 さん ユーフォニアム奏者・音楽指導員

ロイヤルノーザン音楽大学院 ◀ サルフォード大学 ◀ 宇都宮商業高等学校 ◀ 中部部 ◀ 小学部(平成6年度卒)

稲葉さんは、小学部の金管クラブでの活動を通して金管楽器の魅力に出会い、大学進学にあたっては、ブラスバンドの本場イギリスに留学する道を選びました。その後、イギリスでの世界的なコンクールのユーフォニアム部門で2年連続1位という快挙を遂げました。『ブラスバンドワールド』という雑誌に大きく顔写真が掲載されました。

数年前までは、フォーデンスバンドというトップレベルのバンドの一員としてロイヤルアルバートホールで開催された全国大会で優勝するなど充実した演奏活動を続けていました。



稲葉さんが表紙に掲載された雑誌「bbw」  
2002年11月/2003年1月号

現在は、演奏活動もしながら、個人やグループ・学校のクラスなど様々な形で小学生から高校生まで幅広い年齢層の子どもたちに金管楽器の指導をしています。お子さんが生まれる前は、1週間で15校も担当していたそうです。

奏法に関する的確な指導をすることで、子どもたちが演奏する楽しみを見つけ、素晴らしい演奏家に育っていく様子を見ると、この仕事をやっていてよかったな、と実感するそうです。

「小学部のころを振り返ると、金管クラブだけでなく、多彩な行事や授業の中での素晴らしい先生方との出会いや体験、英語に早くから触れていたことなどが、今の自分の宝になっています。本当に恵まれていたのだなと感謝の念にたえません」と話してくれました。



現在の稲葉さん(イギリスにて)



卒業アルバムより

稲葉 菜摘  
努力は実る

## 2021年度 募集要項

※新型コロナウイルスの感染状況により変更が生じる場合には、小学部HPでお知らせいたします。

入学試験	第 1 回	第 2 回
募集人員	第1学年、男女あわせて75名(1学級25名程度の少人数編成)	
出願手続	本学院所定の入学願書にて本学院事務局へ提出 (願書配布は、8月末頃から事務局、又は小学部職員室にて)	
出願期間	2020年11月2日(月)・ 11月4日(水)～6日(金) 受付時間 9:00～16:00	2021年1月5日(火)・8日(金)・ 1月12日(火)・13日(水) 受付時間 9:00～16:00
選考日時	2020年11月23日(月・祝) 申込順に下記の時間を指定します 9:30/10:30/13:30/14:30	2021年1月17日(日) 申込順に下記の時間を指定します 9:30/10:30/13:30/14:30
入学選考	心身両面の発達を調査し、本校教育に適する者を選びます。 合わせて保護者の面接も行います。	
選考料	8,000円	
合格通知	2020年11月25日(水) ※郵送通知による発表	2021年1月19日(火) ※郵送通知による発表
入学手続	合格者は2020年12月1日(火)までに 入学金80,000円を所定の銀行へ振込 んでください。 (入学金は返金いたしません)	合格者は2021年1月22日(金)までに 入学金80,000円を所定の銀行へ振込 んでください。 (入学金は返金いたしません)
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会への手続きは、本学院で行います。</li> <li>・就学時健康診断は、指定された小学校で受けてください。</li> <li>・学区制限はありません。</li> <li>・卒業後の進路選択は自由です。</li> <li>・本学院中等部への進学は、入学試験を受け、その結果により認められます。</li> </ul>	

### 入学諸経費

○諸納付金…170,980円 ※2020年4月より

■施設費 100,000円(入学時・2年より年間 20,000円) ■4月分授業料・教育充実費・実習費 35,600円  
 ■学級経費 13,000円(半年分) ■保護者会経費 12,000円  
 ■給食費 6,900円 ■その他の経費 3,480円

○購買用品…男子/約 68,600円・女子/約 71,600円

■制服一式 ◆男子 約 25,000円 ◆女子 約 28,000円  
 ■体育着一式 男女共通 約 6,600円  
 ■学用品・スモック・ランドセル(学院指定のもの) 男女共通 約 37,000円

○毎月の経費…45,500円

■授業料・教育充実費・実習費 35,600円 ■給食費 6,900円  
 ■行事積立金 3,000円 ※4・5月は、学級経費 13,000円が含まれます。

※児童募集に関する個人情報の取り扱いについて/願書などに記載いただいた個人情報は、入学選考実施のための事務手続き、及び合否等の連絡、合格後における入学手続等の事務手続き及びその連絡のために使用いたします。

## 学校説明会・公開授業参観

2020年 聴蛙館  
**10月22日(木)**

小学部に入学を希望する園児の  
保護者の方々のご来校をお待ちしています。

学校説明会

場 所/聴蛙館 3階  
受 付/ 9:30～10:00  
開催時間/10:00～10:40

公開授業参観

場 所/小学部各教室  
授業時間/10:50～11:35

### 一日体験教室

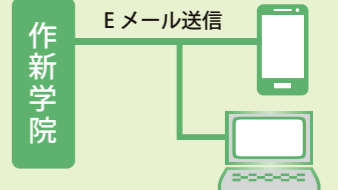
小学部に入学を希望する園児・保護者の方々を対象に  
小学部教室にて「一日体験教室」を開催しています。



### 安全対策

#### 登下校時の安全確保についての小学部での対策

- 下校の際には、毎日バス停の方面ごとに教員が児童を引率しています。
- 通学範囲の広さを考慮し、安全確保のため、学校指定の子ども用携帯電話に限り条件を付して所持を許可しています。



休校や災害時の緊急連絡・不審者情報などの連絡